

各位

会社名：株式会社アルチザネットワークス  
 代表者名：代表取締役社長 床次 隆志  
 （コード番号：6778 東証マザーズ）  
 問い合わせ先：取締役コーポレート・サポート部長 高橋 玄太  
 （連絡先：042-529-3494）

## 業績予想の修正に関するお知らせ

直近の業績動向等を踏まえ、平成14年3月13日に公表致しました平成14年7月期業績予想を下記の通り修正致しましたので、お知らせ致します。

### 記

#### 1. 通期業績予想の修正

平成14年7月期 通期業績予想の修正（平成13年8月1日～平成14年7月31日） （単位：百万円、%）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年3月13日 発表)	2,780	636	365
今回修正予想(B)	2,180	536	305
増減額(B-A)	600	100	60
増減率	21.6	15.7	16.4
前期(平成13年7月期)実績	2,872	1,161	605

#### 2. 業績予想修正の理由

情報通信分野の研究開発及び設備投資に関わる事業環境は依然として厳しい状況が継続しております。現時点における事業セグメント別の動向につきましては、以下のように考えております。

##### 【プロトコルテストソリューション事業】

###### ATMシグナリング

NTTドコモの「FOMA」プロジェクトへの対応が中心であるため、比較的堅調な推移が見込めるものの、国内通信機器メーカーの研究開発投資、設備投資抑制の影響を受け、市場動向はやや不透明であります。なお、業績修正後の当セグメントの通期売上は、1,610百万円を見込んでおります。

###### TDMシグナリング

既存携帯電話網向けの設備投資は実質凍結されており、既存通信インフラ向けの当社製品需要は減速しております。VoIP向けの需要動向は、今後の成長は期待できるものの、想定していた機器開発・導入のペースより緩やかな状況であり、市場動向は不透明であります。なお、業績修正後の当セグメントの通期売上は、270百万円を見込んでおります。

###### IPテスト

通信事業者の設備投資抑制の動きにより、市場動向は低迷している状況であります。なお、業績修正後の当セグメントの通期売上は、140百万円を見込んでおります。

##### 【ネットワーク・マネジメント・ソリューション事業】

通信事業者の設備投資抑制の動きにより、市場動向は低迷している状況であります。なお、業績修正後の当セグメントの通期売上は、160百万円を見込んでおります。

以上の事業環境を勘案した結果、売上高が計画未達となる可能性は高く、採算性も悪化する可能性が高い見込みであり、売上高、利益ともに前回公表予想を下回る見通しとなることから、業績予想の修正を行うこととしました。

(注) 本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは、異なる結果となり得ることをご承知おきください。

以上